

山崎小学校
学校だより

あい

岩出市立山崎小学校
令和4年8月25日
No. 9
文責：柏木



さあ、今日から2学期のスタートです

約5週間の夏休みも終わり、今日から2学期が始まります。

この夏休みの期間、どのように過ごされたでしょうか。きちんと、生活のリズムをこわさないよう、規則正しい生活（早寝、早起き、朝ご飯）を送れた人、少し緩んでしまった人。自分の苦手なところはしっかりと復習して、得意な部分について、より確実に出来るよう計画的に宿題や勉強を毎日取り組めた人。後半必死になって宿題を仕上げた人。みなさんはどうだったでしょうか。

さて、2学期は、季節も夏から秋、そして冬の始まりと、1年のうち最も長い期間となります。学校でもじっくりと、学習や運動など取り組みができる時期となります。この2学期の4ヶ月でしっかりと子どもたちを鍛え伸ばしていければと考えております。2学期も引き続き、山崎小学校の教育目標「なりたい自分に向かって、学び挑戦し続ける人の育成—「あい」のある、「あい」を大切にできる学校校—」を実現できるよう、全教職員で取り組んで参りますので、よろしくお願いいたします。

熱中症対策と感染症対策の徹底を



夏休み中、最高気温が35度を超える猛暑日を伝えるニュースが連日のようにありました。2学期に入ってから残暑が厳しくなることも予想されます。

一方、新型コロナウイルス感染症の第7波の拡大は、予想以上のものがありました。岩出保健所管内においても、1日の新規感染者数が300人を超える日も見られるなど、感染力の強さに改めて驚かされました。

学校では、引き続きマスクの着用（体育等除く）や手洗いの励行、黙食、常時換気など今まで取り組んでいる対策をして参ります。各ご家庭でも、朝の健康観察や検温をしっかりといただき、家族内で誰か1人でも風邪症状がある場合は、登校を控えていただくとともに、医療機関等で受診をしていただき医師の指示を受けてください。その結果につきましても学校まで連絡をお願いします。



今日の始業式で、「思いやり算」の話をしました。（以下抜粋）

たす（+）…「たすけあう」 ひく（-）…「ひきうける」
かける（×）…「声をかける」 わる（÷）…「いたわる」
「それは、人を笑顔にする算数。思いやり算。ほら、やさしいでしょ。」
※【ACジャパン】のCMより

「+」は、助け合うことです。一人よりも二人、二人よりも三人と、力を合わせ、お互いに助け合い協力することで、より大きな力が発揮されます。

「-」は、困っている人のちょっとした事を引き受けてあげることです。進んで引き受けることで相手は喜び、相手の喜びが感じられれば、引き受けた人も喜びを感じます。それが、お互いさまへ、持ちつ持たれつという関係がつけられます。

「×」は、声をかけることです。挨拶も含めて、優しい言葉や励ましの言葉をかけることによってお互いの心が一つになります。

「÷」は、いたわることです。困っている人などに思いやりの気持ちで接すれば、相手の心が和み、同時に笑顔も返ってきます。

子どもは周囲の大人の行動や姿から、人を思いやる気持ちを学んでいきます。家族を含め周りの人を思いやり、敬う気持ちを持って行動すれば、本当の意味での思いやりの心を学びます。それは、毎日のちょっとした仕草に表れるものです。子どもは自然にそれを学び、人を思いやり、その人の気持ちを尊重していくようになってきます。

人に対する思いやりの心は、わたしたちが生きている限りずっと学び続け、行動に移していくことだと知っていくのではないのでしょうか。

小さな優しさは、人に笑顔を与えます。四則計算では、かけ算や割り算が優先されますが、「思いやり算」では、どのような計算をしても人をプラス（笑顔）になることばかりです。

人を笑顔にする「思いやり算」の心で、相手の立場に立ち、考えて行動できる子どもたちに育ってこればと思います。そうすることで、一人ひとりがお互いの人格を認め、尊重できることで自分も大切にできる山崎小学校になれると信じています。

「あい」のある学校の風景



【補充学習】



【タブレットPC体験会】



【教員研修】